

ノリ養殖環境速報 KH-30-7 (播磨灘) 平成31年1月9日 発行

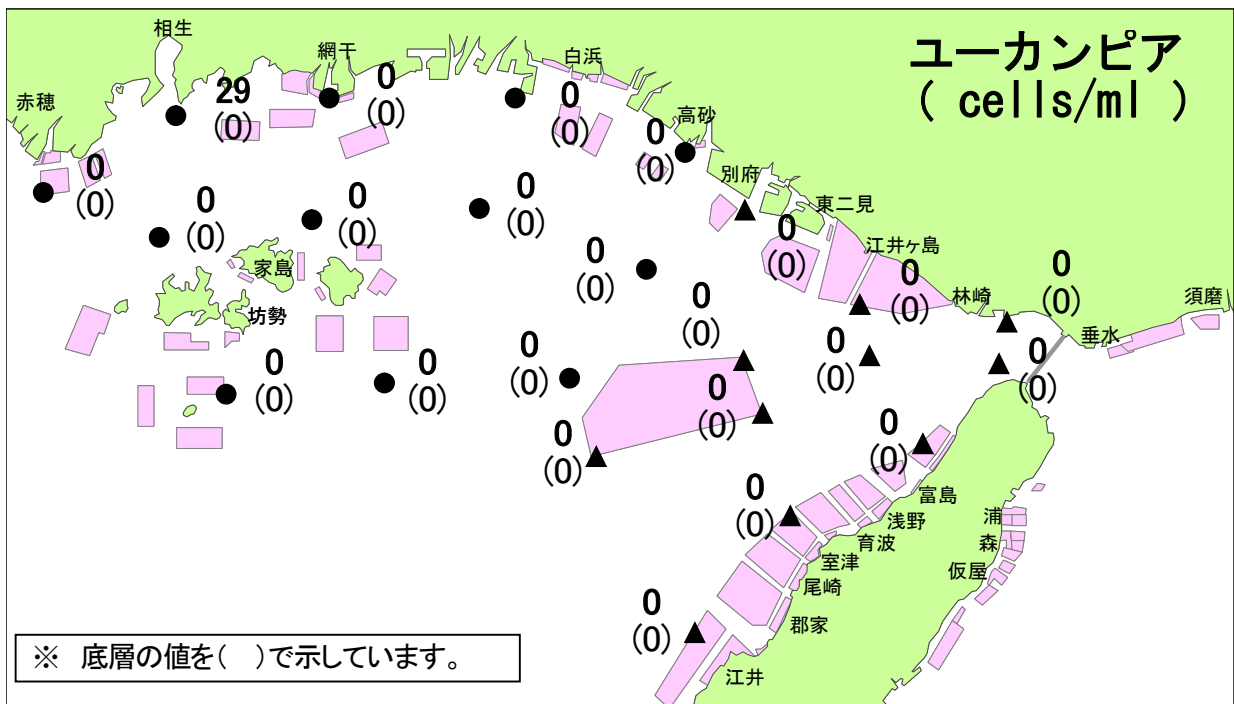
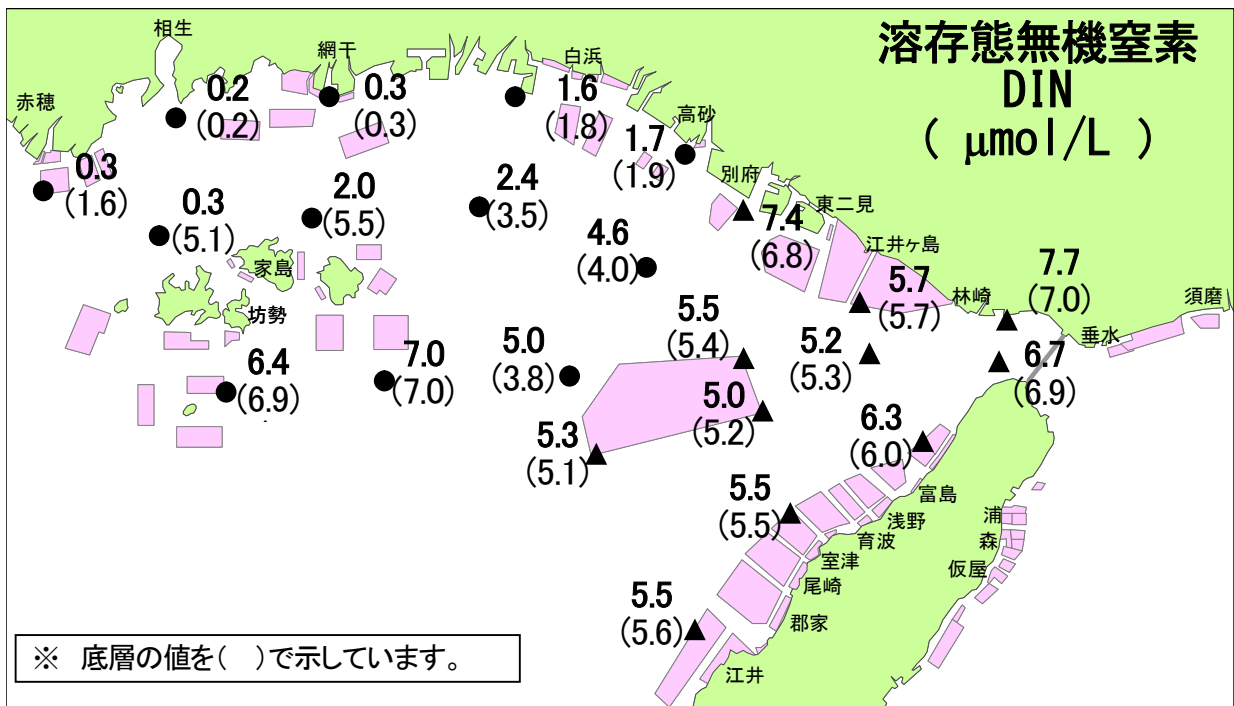
調査年月日：平成31年1月7～8日

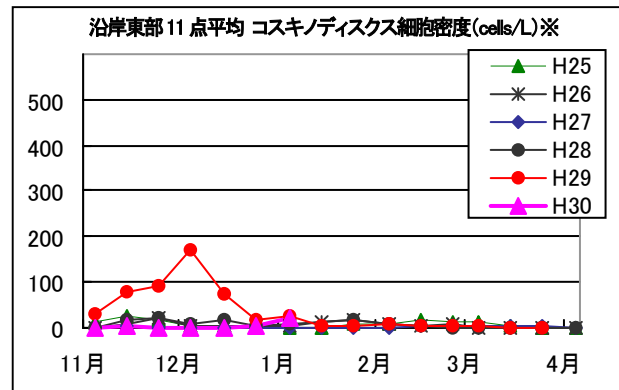
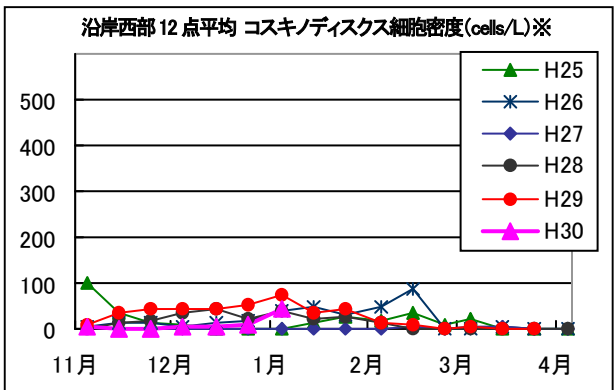
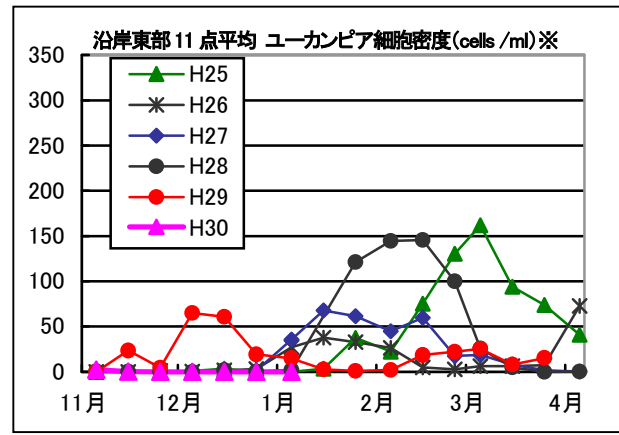
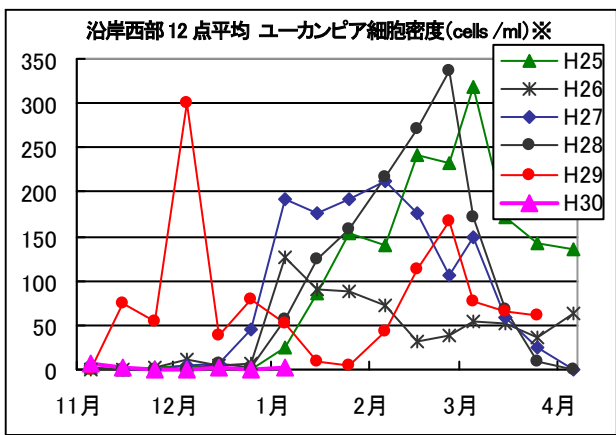
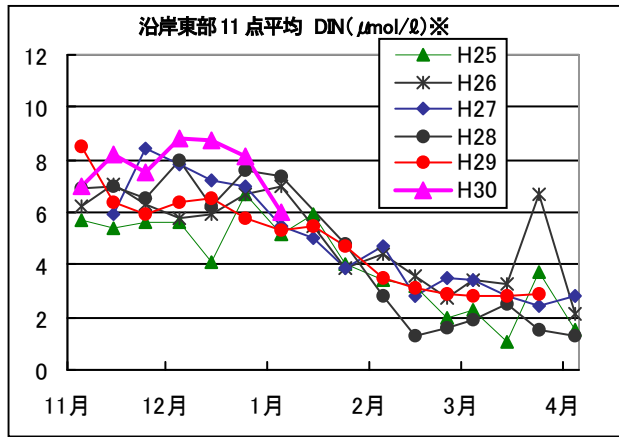
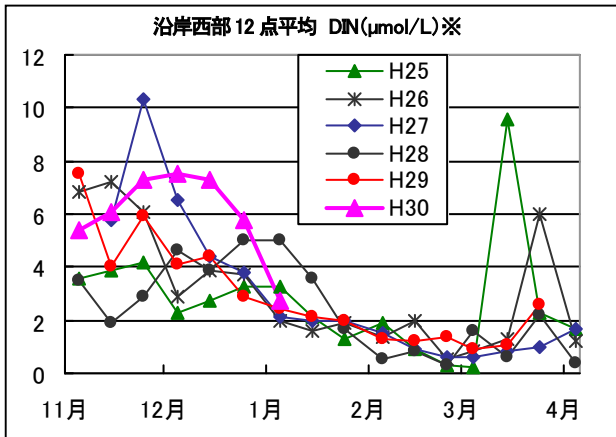
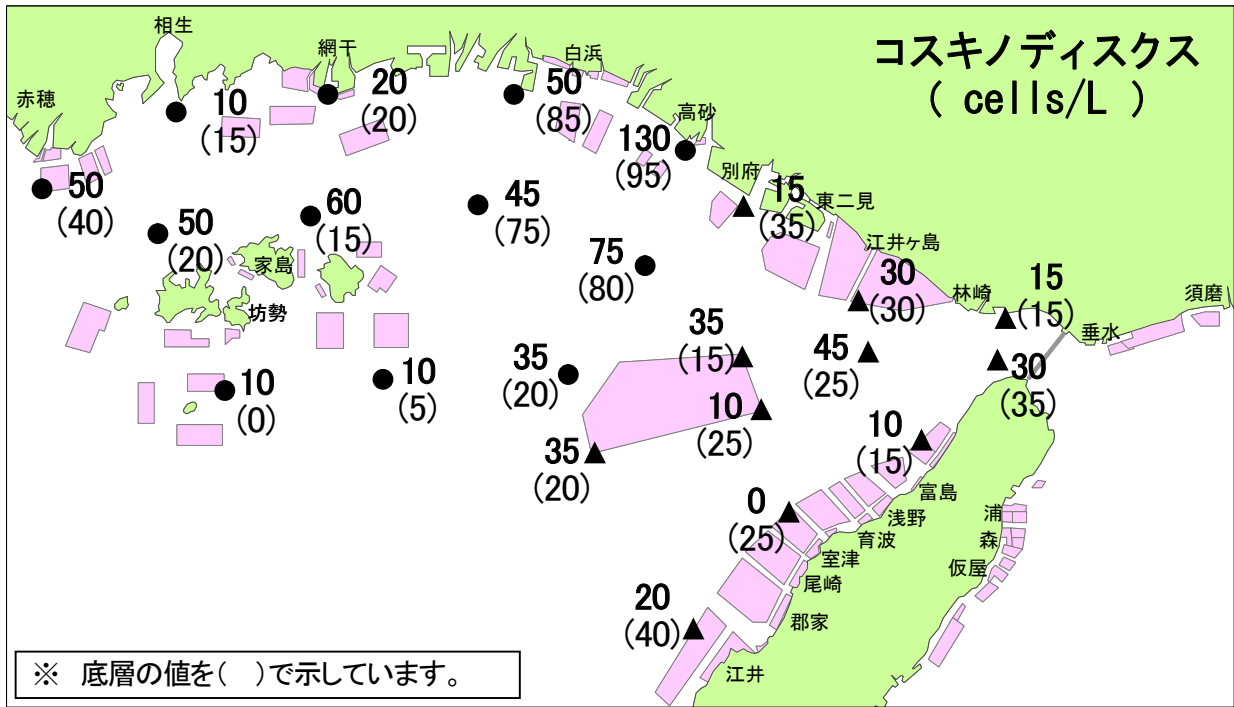
〔調査箇所は地図上に▲(東部)および●(西部)印で表示しています。〕

概況 播磨灘(調査海域)のDIN濃度は、概ね7 $\mu\text{mol/L}$ 以下で推移しています。

大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーは全域でやや増加しており、ユーカンピアは北西部沿岸の一部の海域でわずかに確認される程度です。北部沿岸の海域では小型珪藻類が多く発生しています。

水温は、白浜以西では10.5～12.5 $^{\circ}\text{C}$ 、家島諸島周辺では11.3～13.1 $^{\circ}\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で12.1～12.7 $^{\circ}\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では12.8～13.6 $^{\circ}\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では12.7～12.8 $^{\circ}\text{C}$ でした。





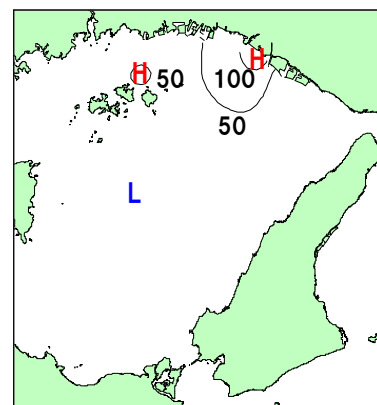
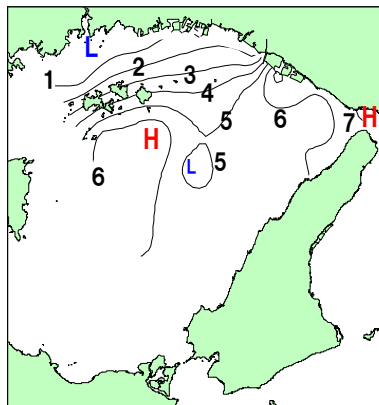
※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

平成31年1月7日～8日の水平分布状況(表層、実測値)

溶存態無機窒素濃度(DIN、 $\mu\text{mol/L}$)

ユーカンピア(cells/ml)

コスキノディスクス(cells/L)



* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

表層の DIN 濃度は概ね $7\mu\text{mol/L}$ 以下でした。播磨灘北部沿岸（家島諸島より北の海域）では小型を中心に多様な珪藻類が多く発生しています。その海域では群体を形成するキートセロスやスケルトネマが多く発生しています。大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーは全域でやや増加していますが、今後短期間で急激に増加することはないと考えられます。また、ユーカンピアは北西部沿岸の一部の海域でわずかに確認される程度でした。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年並みか少ないとされ、備讃瀬戸周辺の栄養塩濃度も低下していることから、海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移は低下傾向と考えられます。

週間天気予報 気象庁 1月8日 16時32分 発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間（1/9～1/15）の近畿地方は、気圧の谷や寒気の影響で雲が広がりやすく、北部では明日（9日）と期間の終わりには雨や雪が降る見込みです。

最高気温、最低気温はともに、おおむね平年並か平年より高いでしょう。

降水量は、平年並か平年より少ない見込みです。

その他の情報

- ・岡山県の調査（1/7）では、日生沿岸の DIN 濃度（表層）は $0.5\sim 2.8\mu\text{mol/L}$ でした。同海域で大型珪藻のコスキノディスクスは $10\sim 30\text{cells/L}$ 確認されました。また牛窓沿岸海域でユーカンピア（12/27 調査）は確認されませんでした。
- ・香川県の調査については、以下の URL から参照してください。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

※栄養塩の単位： $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

【今後の予定】

- ・平成31年4月上旬まで毎月3回程度（上・中・下旬）の発行を予定しています。
 - ・次回は平成31年1月17日頃に発行する予定です。
- *この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下のURLにパソコン等からアクセスして下さい。
<http://www.hyogo-suigi.jp/>